

2022 年度レジリエンス共創研究報告会 ー 第 83 回 IRIDeS オープンフォーラム (旧 IRIDeS 金曜フォーラム) ー を開催しました (2023/7/22)

テーマ：災害レジリエンス、災害デジタルツイン、ヒューマンレジリエンス、人流データ、共創・連携
会場：オンライン開催
URL：<https://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum/irides-forum2023/20230722.html>

2023 年 7 月 22 日 (土) 9:00~16:30、「2022 年度レジリエンス共創研究報告会」をオンラインにて開催しました。本報告会は、昨年度に「災害レジリエンス共創研究プロジェクト」として実施された、災害科学国際研究所と学内外の研究機関との共同研究、および防災科学技術研究所とのマッチング研究による防災、教育、人材育成への取り組みに関する研究成果の発表の場であり、多様な分野の研究者がとどい活発な意見交換が行われました。

はじめに、江川新一センター長から開会のあいさつとして、本プロジェクトは災害に対してしなやかに回復する「強靱」な社会をめざして、研究機関の枠を超えた連携と研究資源の共同利用を促進し、「総合知」を導くための共創研究である、という趣旨が示されました。引き続き、2つの zoom 会場において「災害デジタルツイン開発に関する研究」「人流データを活用した社会動態の解明に関する研究」と、4つの重点研究領域である「災害レジリエンス数量化研究」「ヒューマンレジリエンス研究」「災害情報キュレーション研究」「災害レジリエンス共創」、そして東北大学 - 防災科研マッチング研究から、全 28 課題のセッションが行われました。いずれのセッションでも、災害予測、被害状況把握から被害の低減、社会対応力の強化、復旧・復興の迅速化を図る最新の知見が発表され、質疑応答を通して理解を深め、今後の課題の共有化を図ることができました。最後に栗山進一所長より、昨年度に引き続き今年度もさらなる研究の発展と、特に若手研究者たちがより活発に研究へ参画することへの期待を示して締めくくりました。

本報告会は、当研究所、学内外研究関係者のほか一般の方々も含め、約 80 名のみなさまにご参加いただき、災害レジリエンス向上のあり方を共有する意義ある機会となりました。当日のプログラムは以下の通りです。

	ホール A	ホール B
9:00-09:10	開会の挨拶：江川新一センター長	
9:10-10:10	災害デジタルツインの開発に関する研究 (3 件)	
10:10-10:20	休憩	
10:20-11:20	人流データを活用した社会動態の解明に関する研究 (3 件)	災害レジリエンス共創領域 (3 件)
11:20-12:20	昼休憩	
12:20-13:40	災害情報キュレーション研究領域 (4 件)	災害レジリエンス共創領域 (4 件)
13:40-13:50	休憩	休憩
13:50-15:10	災害レジリエンス数量化研究領域 (4 件)	ヒューマンレジリエンス研究領域 (4 件)
15:10-15:20	休憩	
15:20-16:20	東北大学-防災科研マッチング研究 (3 件)	
16:20-16:30	閉会の挨拶：栗山進一 所長	

文責：江川新一、永田彰平、武田百合子 (災害レジリエンス共創センター)
(次頁へつづく)



開会のあいさつ：江川新一 センター長



Zoom 配信 参加者のみなさん



ホール A 発表の様子



ホール B 発表の様子



東北大-防災科研マッチング研究
 発表の様子



閉会のあいさつ：栗山進一 所長
 司会：永田彰平 助教